



しら



霧山を背に海沿いのびる脇元

(お不動山の頂上から写す)

霧山のふところ深く……

霧山を背に湾曲する海沿いのびる脇元の里。日本海から吹きつける風は突き刺すように冷たく、村はひっそりとした新年の朝を迎えた。

村の真ん中にどっかとおぐらをかいている霧山は、いまでも昔も脇元の象徴。山のふところ深く村びとの夢をはぐくみ、喜怒哀楽をともしてきた。

山手を貫く、「パイパス」。狭い曲りくねった道路にさよならしたのは去年のこと。迷路?のような道路を嘆いていた霧山もこれですっきりしたところだろう。

暖冬を思わせた新年だったが、やはり、季節のおとずれは確実にやってきた。日本海の荒波はテトラポットをたたきつけ、村はこれから冬本番。

やわらかい春の日差しをじっと耐えて待とう。

昭和54年 1月号

希望に満ちた飛躍の年に

—新年のごあいさつ—



村長 白川 治三郎

活力のある村づくりに努力

昭和五十四年度の年頭にあたり、謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

さて、わたくしはこれまで住民優先の市政を進めるべく努力してまいりましたが、豊かで住みよい活力のある村づくりには、なんとしても経済的に安心して暮せる居住環境が必要だと思います。

すなわち、村は人間の喜びを広げる生活の場であり、人間の豊かさを高める生産の場であり、人間の安らぎを深める休息の場であるという、もつともぞまじい姿を描き出すことにあると存じます。

今年はこの三点をふまえ、村勢進展のため全力を傾注する所存であります。

先ず、畜産が経済の柱であるという観点から、今年はずでに環境アセスメントを終えての公共育成牧場造成事業に着手する予定ですが、計画では遊休地約四百畝を利用し、牧場を造成しますが、この事業が完成すれば昭和六

十年度には肉牛が一千五百頭に拡大され、本格的な畜産時代に入るわけでありまして、また、村民の雇用を主体とした万頭養豚事業も画中であり、肉牛飼育とあわせて農家所得の向上に役立てたいと考えております。

次に二百海里問題に伴う沿岸漁業の見直し策として、昨年末完成したサケ・マスふ化場は三万匹のふ化能力を保持していますが、近く卵を採る予定で四月上旬には種魚を前海に移して六月には放流の段取りであります。成魚として戻ってくるまでには三、四年はかかるものと思われまして、毎年このサイクルで事業を進め漁民所得の増大をはか

つてい予定です。文化は、本村は津軽文化発祥の地として知られており、古史を認め旧蹟が豊富であります。こうした歴史的背景を利用し、史跡観光ルートを確立したいと考えておりますが、これに先立ち、史跡の発掘調査を行い多くの謎に包まれていた古代

から中世にかけての歴史解明に全力を注ぎ、建設予定の城趾公園に博物館を併設して、出土品をはじめ考古資料、自然科学資料を展示するつもりであります。

観光に関連して昨年、「環境美化宣言の村」予備宣言を決定いたしました。今年はその

から中世にかけての歴史解明に全力を注ぎ、建設予定の城趾公園に博物館を併設して、出土品をはじめ考古資料、自然科学資料を展示するつもりであります。



村議会議長 木村 義光

村民の意思を市政に

環境美化憲章を制定し、文字どおり「環境美化宣言の村」として国定公園に恥じることない美しい、明るい村づくりに努力したいと存じます。

以上、新年にあたっての抱負をのべましたが、村民のみならずのご理解とご力を唯

いせつに踏みぬいてまいりたいと思っております。

本年もよろしくご指導ごらんいただきありがとうございます。心からお願い申し上げます。新年のごあいさつといたします。

年頭にあたり、皆様のご多幸を念じつつごあいさつを申し上げます。

新年を迎え、新地方自治制度も三十二年目に入りますが、これまでに地方自治の成長発展をふり返ると感慨深いものがあります。しかし、今後に予想される厳しい現実を考えると、感慨にふけつては

抜けていくのか、まさに新年の最大の課題であります。

私も、この難局に対処していくため、全国町村議会議長大会において、町村議会

の確立強化、行政改革の推進など、町村行政対策の主要事項の決議要望を採択しまし

た。

その中で、村の主な事業は村道の整備事業をはじめ、簡易水道事業、水田利用用編

対策、歯科診療開設、臨元保育所、臨小プールの建設等を進めて参りました。

五十四年度の事業についても、低成敗下のおおりで財源の制約が打ち出されており、私も議員として、

卒直にいつて村民の期待にそえる事業を実施できるか、どうか不安もございます。

しかし、村民の意思を反映させる立場から微力ではございますが、村民の皆さんと十分接論を保ちながら、行政結果すべき役割のため新たな決意で議会運営をはかりたいと思

います。

明るく住みよい村づくりのために、村民の皆さんの一層のご指導ご協力をお願い申し上げます。新年のごあいさつといたします。

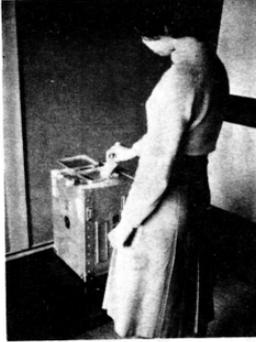
あなたの一票で県政がままる

■県知事選挙／投票日は二月四日です

県知事選挙は一月十日に告示されましたが、二月四日が投票日です。一月九日現在の村有権者は三千九十八、男二千四百三十人、女二千五百七十九人。

こんどの選挙は、民選知事制度になってから十回目の選挙に当ります。過去三回の知事選挙の村内投票率は、昭和42年72・53%、46年は74・10%、前回の50年は65・81%となっていています。選挙は、わたくしたちの意思を政治に反映させ、また、政治に代表者を送って参加する手段です。

県知事選挙は、これから四年間、わたくしたちの暮らしが県政にどうむすびつくか、大切な選挙です。自分の一票を棄権する人がいたとしたならば、自分自身の生活をないがしろにすることになりまます。わたくしたちは、知事を選ぶ主権者として、尊い一票を自己の信念と、信頼によって行使したいものです。



告示と同時に不在者投票ができます。

思を政治に反映させ、また、政治に代表者を送って参加する手段です。

自分の一票を棄権する人がいたとしたならば、自分自身の生活をないがしろにすることになりまます。

わたくしたちは、知事を選ぶ主権者として、尊い一票を自己の信念と、信頼によって行使したいものです。

投票時間と投票所

投票時間	午前7時～午後6時
第1投票所	市浦村基幹集落センター
第2投票所	太田小学校
第3投票所	脇元公民館
第4投票所	十三地区集会所

次の方は不在者投票ができます

投票日に出稼き、用務等で投票できない方は、市浦村運営で不在者投票ができます。(期間は一月十日から二月三日まで、毎日午前八時三十分から午後五時まで) 住居を移転して村外に居住していても市浦村の名簿に登録されて

○をつける欄	候補者氏名
甲 野 太 郎	
乙 山 次 郎	

いる方は(現住所地の証明書を送付)市浦村運営に不在者投票用紙を請求し、所在地の市町村運営で不在者投票をすることができまます。(詳しいことは市浦村運営へ)

投票は記号式です

県知事選挙は今回もまた記号式投票です。四度目の記号式投票になるわけですが、○をひとつだけ投票ができます。

候補者の氏名を投票用紙に印刷してありますから、氏名の上の○をつける欄に自分で投票しようとする候補者のところへ○をつけるだけでよいのです。

×や△、―等を書くくと無効になりますから注意しなさい。なお、各投票所の記載所に○の木印をスタンプ台を置きまますから、それを使つてくださいます。

例をあげると次のようになります。(乙山次郎に投票する場合)

交通事故防止は



一人ひとりの自覚から

「一年の計は元旦にあり」といわれております。運転者のみなさんは元旦に今年の無事故、無違反を固く誓つたことと思ひます。

昨年、本村の交通事故は、発生件数二十八件、死者三名、傷者二十七名となつております。これらの事故の原因は、若年ドライバーの暴走、飲酒運転によるものも多く、若年運転者の基本的な運転マナーの欠陥によるものも少なくありません。交通事故防止は、村民みんなが事故の悲惨さを自覚し、みなが一纏になつて事故防止に立ち上らなければなりません。

特に年始は、酒を飲む機会が多くなりますが、ちよつと一杯だからといつたやうな甘い考えは重大事故につながることを自覚しなければなりません。

雪道では急ハンドル、急ブレーキは禁物です。十分を間隔と安全な速度で交通事故防止に努めましよう。歩行者のみなさんも、危険と思つたら安全な場所で立ち止まり、自動車が通過してから横断するなど、一人ひとりが交通事故防止につとめたいものです。



さあ元気でいこう 1979/今年のわたしの抱負

意志の強い成人に



石岡 つき子
(新成人・20歳)

社会人になつてもう二年になるうとしていますが、まだ仕事も華人前で何をすることも人の手助けがなくてはだめな私です。

そんな私も成人式を終えた今、一人の人間としての責任を強く感じています。
成人式が私の出発点です。今までの幼なさを一つずつなくして、感情に先きはしらない人間として、強い意志のもてる成人になりたいと思っています。

責任ある行動を



榊引 岩蔵
(50歳)

「人の世話にはなりやすいが人の面倒みるのはむずかしい」私の好きな言葉です。人のためなら進んでと思っています。

来月に至りました。でも、迷惑をかけずに責任ある行動を……。お互いに責任を感じるならば交通事故も減少すると思います。運転者も歩行者も慎重に行動するならば、小なりとも私の好きな言葉も案外近くにあるのではなないかと思っています。

初心忘るべからず



伊南 徹
(教委勤務・19歳)

「初心おするべからず」という言葉が、私は好です。昨年は、この言葉の一言のように社会人として初心者でした。

今年は、二十歳になれることで、自分の行動に責任をもち、初心の気持ちを忘るべからずに行きたいと思っています。また、自分の目標を何かしら決め、その目標に一つでも近づけるよう一日一日を大切に、充実した一年にしたいと思っています。

活字に触れ知識を高める



工藤 富子
(主婦・24歳)

とかく主婦は、掃除や炊事、洗濯と農作業に追われている。その忙しさの合間を見て新聞や週刊誌を見る程度

である。たまに手紙を書くにしても事典を横に置きながら、という具合。
今年は、一日一ページ、いや一行でもいいから活字に触れようと思つている。それが自身の知識、心の安楽となり、少しでも成長することを確信しながら努力してみたい。

公害のない日常生活



竹谷 えく
(主婦・37歳)

今の子供達はお金さえあれば、自分の好きなインスタント食品やお菓子を買って、お菓子が、私は、今一度親が先になつて合

成着色、保存・甘味料等の入っている食品は、買わないようにし、子供たちにもそのことを教えたいと思っています。一番身体に毒な合成食品から脱皮し、安全で楽しく日常生活を送りたいと思つております。

笑いは健康のもと



木村 定雄
(農業・63歳)

ここに新しい年を迎え身も心もすっきり清く改まりました。健康な笑いは健康な心から来る。笑う門には福が来ると昔から

のたとえ話である。笑うと頭がやすまる、笑う人は長生きする、やせたらは笑う習慣をつけるとふると言う。笑えば自然に愉快になる、又、若返るといわれる。そしてその笑いは、腹のそこらから笑いは税金はかかりません。笑いは税金は忘れずに。

津軽の先住民族



阿曾部が盛(行来山) 噴煙図

阿曾部が盛の大爆発は、六回目から始まり、津軽のシンボル岩木山が出現しました。(村史資料編上巻より)



▶ 13 ◀

晋人の渡来

豊島勝蔵

阿曾部加無礼・加止利・比利志・シカ、津保化族・阿左津・味奈利・加麻利・貴良伊利。第三次大戦以來、時には合戦し、時には和陸という変遷がくり返されました。そして、遂に阿曾部族長止志加、津保化長貴良伊利の時代に阿曾部族にとつては運命の日がやっ

とあるのは、阿曾部一族であつて、まさに阿鼻叫喚の生地獄を見出したことである。阿曾部が盛を血で汚した合戦の罪の厳さが、神の怒りによつて阿曾部族にくだつたものでしょうか。ああ！哀れむべし阿曾部の民、安らかに眠れと祈らざるを得ません。阿曾部が盛の惨事はかくも避難を感した一族により、同族の部落に告げられました。

阿曾部が盛は、大爆発五回目か六回目かの大爆発はたかさんあつたことでしょう。阿曾部が盛にすつくとそびえ、現在まで津軽のシンボルといわれる岩木山が出現する最後の大爆発ではないかと思われまふ。古昔によると、地鳴り毎度の震動地に起り、突如として森林八方に割れ、火泥を吹上げ延々と山火八方焼炎す。多くの人々この飛落る火石に埋もりて死す」とある。その驚異は、表現の一字一字にあふれているように思われまふ。この阿曾部の森の大変動によつて、大被害を受けたのは当然、生息地の阿曾部一族でした。多くの阿曾部

阿曾部が盛は、大爆発五回目か六回目かの大爆発はたかさんあつたことでしょう。阿曾部が盛にすつくとそびえ、現在まで津軽のシンボルといわれる岩木山が出現する最後の大爆発ではないかと思われまふ。古昔によると、地鳴り毎度の震動地に起り、突如として森林八方に割れ、火泥を吹上げ延々と山火八方焼炎す。多くの人々この飛落る火石に埋もりて死す」とある。その驚異は、表現の一字一字にあふれているように思われまふ。この阿曾部の森の大変動によつて、大被害を受けたのは当然、生息地の阿曾部一族でした。多くの阿曾部

津軽に新しい文化

しかし、この大爆発は、津軽に新しい文化を運んで来た晋人の渡来をうながしました。真紅の長柱となつて噴き上げる火明かりは夜空一面に広がり大陸から眺めるとういづにいわれぬ眺望であつたものでしょう。この火柱を目撃して晋人が船によつて、渡来して来たわけでは、時はあたらかも第四回永期(約五千年以前)のビークを過ぎた、まあ約二千六百年以前の頃のことです。日本海には海水があふれ満ちていた海進時期でした。大陸では、周の恵王の

時代でした。

君公子一族漂着

周の恵王(前六六一―前六五二)の治世二十五五年間は乱世の時代でした。特に在位八年には、晋穆公がことごと公子を殺りくたすことが記録の中に出て来られた。この頃、この内容を読まれた君公子一族が船隻不明に分乗して朝鮮半島の南岸を海流に船を乗せて、阿曾部が盛の大爆発の火柱を目撃し津軽を目指して来ました。漂着した場所は、亀甲丘だといわれています。今の亀ヶ岡付近の海岸だと思われまふ。亀ヶ岡は、亀ヶ岡式土器の出土する縄文晩期の文化の栄えたところで世界的に有名なついでです。こんなことから推考してみます。この亀ヶ岡式土器文化をもちた民族が、この君公子一族のようになつて先住民族である津保化族や難を逃れて生きたのびた阿曾部族は、この君公子一族を津軽にどんなふうか。大陸では、周の恵王の

村の史跡

浜の明神(津神社)

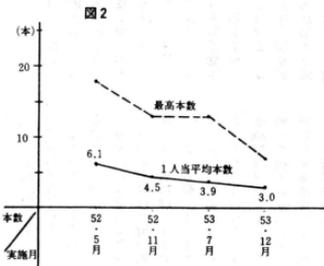
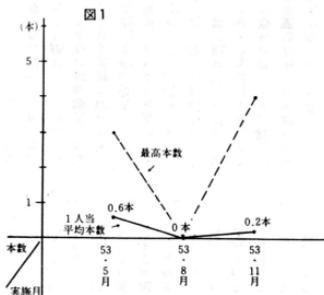
長寛二年(二、四)安倍十郎高恒が十三浜明神伊弉諾(氏神)神社の分霊を祀り、平氏の印許をうけて成棟し、同年十月、十三浜明神に平清盛、教盛、経盛は平氏の安泰を祈つて発願文を捧げられた。現在、津神社のある所がその跡だといわれています。かつて多くの徳儀が町奉行の手によつて発掘され、いまの社は延宝四年(二、六)四月、建立されたものとす。十三部落から南へ四キロの地点に位置していますが、西側には明神沼があり、附近一帯には湿地植物が群生しています。「十三往來」に「浜の大明神の社頭を拝し奉れば雲を並べ五疊立ち回て殿か神樂の床十丈で連く鳥居を立派の間切石を畳みて瑠璃鏡に異ならず、比の明神の本地を尋ね奉れば東土淨瑠璃世界の教主天王の警覺鈴を垂れ給ふ事教王に張り無縁の群集を救わん為仮りに互縁縁砂に身を交へ風波を海辺に担ひて身をたれ給ふこと誓に悲願相續も靈地なり」とあります。



歯科検診に関心を

心身の異常を早期に発見するために、一歳六か月児検診、三歳児健診など実施しました。これらの検診では、内科検診、歯科検診も同時に行なっています。身体の発達面には、関心があるようですが、「歯」についてはまだまだ関心がうすいようです。

一歳半では、12、16本の歯がはえていますが、この検診では「虫歯」を持っている人は少なかったようです。39人中5人が虫歯を持っていました。虫歯の痛みは誰れでも苦しいものですが、子供には味わせたくなりませんね。しか



し、一歳半でまだ、哺乳びんを使用し、しかも、ジュース、清涼飲料水(サイダー等)などを入れて飲んでいる状態です。16人もありました。また、おやつは時間を決めて与えていないお母さんが多いようです。一歳半では、おやつを食べた後や食事後、ミガキをすることができないため、お母さんが子供と一緒に、

ハミガキをするようにしたいものです。じょうぶな歯をつくるためにバランスのとれた食事とハミガキのしつけをしましょう。

一歳六か月児検診から

虫歯は子供の身体発育や精神発達にも影響すること、だれでも知っています。しかし、

一歳六

一歳六か月児検診時、少なからず虫歯が増えていることはどうでしょう。図2を見るに虫歯の本数は52年5月実施の検診と比較すると半分減っています。一歳半から三歳までの間に虫歯の本数が倍以上に増えています。これは見過せぬ事実だと思います。三歳児ではある程度、自分ハミガキができるようになっていますが正しいミガキ方や子供のおやつに気を配ってもらいたいと思います。そして、子供の歯は生えかわるから大丈夫かという考え方、これは今は今すぐ捨てて、虫歯のある子は治療することも必要です。

(歯ブラシの常識)

- 口の大ききより、やや小型のもの↓小児用25mm位
- 刷毛は乾燥しやすいうように、毛束と毛束の間に適當なスキマのあるもの
- 悪くなった歯ブラシは歯肉を傷つけてしまいます。新しいものと取りかえます。3か月といわれています。
- 歯ブラシは使ったあと、風とおしをよくして、乾燥させましょう。

まだ「若いから」と油断は禁物

二月一日から七日まで、成人病予防週間です。ふだん健康に自信をお持ちのあなたも、この機会に一度健康診断を受けます。自分の健康状態をいつもつかんでおく。これが病気の第一です。成人病の予防で一番大切なのは血圧の管理です。そのためにも、まず自分の血圧を知らなくてはなりません。健康診断の時などに血圧を測ってもらいましょう。血圧は、運動、緊張、体の具合、寒さ、その他のいろいろの原因で変化します。何回か測ってみて、自分の本当の血圧を覚えておきましょう。



伊藤千太郎さん長女・相内清子ちゃん(生後11カ月)
 ころばないように歩く練習…。お兄ちゃんは全然かまってくれないので、お人形さんに手伝ってもらっているの!!



戸籍の窓

- お誕生
- 高杉 幸恵(太田) 孝正
 - 白川 聖子(十三) 一明
- ご結婚
- 菊地 清昭(青森)
 - 宮崎 龍子(十三)
 - 山田 浩二(福元)
 - 小川扶美子(根室)
 - 磯野 政雄(小泊)
 - 三上 早苗(相内)
 - 浅利 正光(金木)
 - 唐川 鏡子(相内)